

先進的教育用ネットワークモデル地域事業 地域代表者会

平成11年1月29日
生涯学習センター 資料室
今井教育主管、田中（指導課）
安藤課長、服部主査（岐阜市）
高木主幹（大垣市）
額綱課長補佐（恵那市）

- 1 今後の方向
 - ・ネットワーク拠点 岐阜市
 - ・機構研究員 岐阜市
 - ・ “ ” の役目
 - ・ 国とのパイプ
 - ・ 推進委員会の運営、とりまとめ
 - ・ 研究報告書のとりまとめ
- 2 学校への周知
 - ・ 関係学校への周知につき、岐阜市で概要のわかる資料を作成
 - ・ その資料をもって、各分科会において会合等を必要に応じて開催する。
 - 小中学校 「岐阜市」「西濃地区」「東濃地区」対応。
 - “ ” 以外 「県教育委員会」
- 3 研究テーマ
 - ・ 岐阜県で一本化したものにする。（別紙参照）
 - ・ 岐阜市で設定したテーマ（案）を全体テーマとする。
 - ・ テーマの中で、各学校が自由にインターネットを活用し研究実践する。
- 4 研究実施
 - ・ 各地域の拠点を核にして研究（小中学校）
 - ・ 高速インターネット活用による研究（上記以外）
- 5 研究推進
 - < 推進会議（全体会） >
 - ・ 各地域の代表、大学関係者、企業等によって組織する。
 - ・ 普段の情報交流は、インターネットメールを用いて交流する。
 - < 各地域推進会議 >
 - ・ 各地域によって開催する。（年間数回開催）
- 6 本事業に関わる役目（高校関係）
 - ・ 学校の研究テーマ等（本事業に関わる）の提出。
 - ・ 高等学校関係の推進会議への出席（旅費はない）。
 - ・ 年度末に、簡単な研究報告書を提出する。
 - ・ 学校の各担当者間でメールを用いた情報交流をする。
- 7 その他
 - ・ 本事業で開発するシステム（岐阜市）は、関係学校等自由に活用可能である。
 - ・ 衛星回線を活用したアクセス方法（上り回線は、INS回線等）